

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 社会情勢の変化に対応した理念・目的の再検証、公表	→理念・目的を再検証する委員会常設の有無	B	B	B	A	A
2. これからの社会で求められる専門教育の理念・目的を設定/明確化とその公表	→ホームページ、広報誌、入試要項による公表の有無	B	B	B	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 理念・目的・教育目標についての再検証を、研究科委員長、研究科副委員長、研究科委員長補佐、およびすべての大学院担当教員が、研究科委員会、大学院連絡会、大学院諸問題検討委員会、ポストGP事業運営委員会等の場を活用して実施するとともに、ホームページ、入試要項等によって公開した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 理念・目的・教育目標についての再検証が行なわれ、研究科担当教員全員で理念・目的・教育目標を共有することができた。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後の社会情勢のさらなる変化に対応すべく、随時、理念・目的・教育目標の再検証を継続する。	☆
		その他	☆
			☆

目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか カリキュラム構成図、講義科目一覧、学位取得プロセス、学位論文審査基準、履修モデル、学びとキャリアパス、カリキュラム／プログラム体系図の整備を、研究科委員会、大学院連絡会、大学院諸問題検討委員会、ポストGP事業運営委員会において整備し、ホームページ上で公開した。アドミッション・ポリシーについては入試要項上でも公開した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 在籍大学院生、受験生、大学院担当教員等への周知が実現した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 社会情勢の変化を睨みながら、随時、カリキュラム構成図、講義科目一覧、学位取得プロセス、学位論文審査基準、履修モデル、学びとキャリアパス、カリキュラム／プログラム体系図の点検、整備を継続する。	☆
		その他	☆
備考			☆